

学習ユニット「12 個人情報大切なデータ」

1. 指導対象

小学校高学年～高校1年生（教材を変えれば、小さい子どもたちにも教えたい内容）

2. 指導意図

ネット社会の発達によって、様々な情報のやりとりが簡単になり、多くの人がある情報を利用するようになった。それともなって、様々なやり取りの中で、個人情報が行き交う場面が多くなった。ネットワークというのは、一面、とても便利なものではあるが、反面、大切な個人情報が勝手にネットワーク上に流れてしまうという危険性もある。このことについて、子どもたちに十分理解させるとともに、自分と他人の個人情報を守る態度・姿勢を育てていく必要がある。

3. 指導目標

個人情報がどのように利用されるのかについてを知る

個人情報の種類について知る

個人情報を守るために気をつけなければならないことを知る

4. 代表的な授業展開例（一斉授業の例）

授業自体は、コンピュータがなくても実施が可能である。プレゼン教材を使用する場合は、プロジェクターなどを使っても良いし、一人一人に教材を操作させて考えさせても良い。

(1)大切にしなければならぬ情報について知る

- ・自分に関わる情報のこと
- ・自分の情報が様々なところで利用されていること

(2)個人情報の種類について知る

・名前、住所、本籍・国籍、電話番号、家族の名前、家族構成、年齢、生年月日、血液型、趣味・趣向、性別、学校・勤務先、職業、職種、年収、資産、電話番号、メールアドレスなど

(3)個人情報がどのように利用されているのかということを知る

- ・個人情報を取り扱う業者とその義務
- ・個人情報を必要としている人たちの存在

(4)学習ユニットを4画面目まで表示して見せる

<ここで考えさせる>

- ・携帯メールアドレスを教えることでどんなことが起こるか予想する

<予想される反応>

- ・変な人からメールが来る
- ・迷惑メールが増える

(5)学習ユニットの残りを見せる

- ・個人の情報を大切に扱わなければならない理由
- (6)個人の情報を守るために自分ができることを考える

5. 学習課題に関する学習ユニット以外の問題事例

(実際に起こった事例や今後発生が予想される事例)

コンピュータからの個人情報の流出

(メール、Web ページ、情報機器の盗難、ウイルスによる情報流出など)

ネットワーク以外からの個人情報の流出

(街頭・店頭アンケート、懸賞、電話での聞き出し、名簿等の売買など)

6. 問題事例が発生した際の教師や保護者サイドの対処法，問題解決法

日頃から、個人情報が重要であり、一人一人がお互いの情報を守ろうとする姿勢を養っていくとともに、個人情報が漏洩した場合には、すぐに担任や管理職へ連絡をとり、対応を話し合うことができるようにする。

* 個人情報の保護について、保護者に説明会を設けるなどして説明を行う必要がある

* 校内の情報に関するガイドラインに、個人情報の保護についての決まりを明示しておく必要がある。

7. 課題に関するリンク集

個人情報の保護（総務省行政管理局）

http://www.soumu.go.jp/gyoukan/kanri/a_05.htm

行政機関等個人情報保護法制研究会（総務省行政管理局）

http://www.soumu.go.jp/gyoukan/kanri/so_010424_2.htm

個人情報保護法案全文（毎日新聞）

<http://www.mainichi.co.jp/digital/houan/01.html>